

はじめに

(1) 景観とは

景観とは、建築物や道路、公園、樹木等により構成される、私たちが目に感じているまちの様子や環境そのものを表す言葉です。単に視覚的な眺めだけではなく、四季の草花の香りや木々が風に揺れる音など、五感で感じ取る印象も景観の要素のひとつであり、さらに、公園で子ども達が遊ぶ姿や、街中で多くの人々がにぎわう姿など、人々の活動や営みも景観を構成するものといえるでしょう。

良好な景観とは、その背景に安心感や生活の基盤があってこそ成り立つもので、景観は「生活環境の総合指標」であると捉えます。

私たちが景観から潤いや安らぎを感じ、影響を受けているように、景観は人々によって共有されるものであり、多くの人々が関わって育てていくべき市民共通の資産であると言えます。



市役所からの眺望



緑豊かな住宅地



水辺空間のある公園



市街地の中にある公園



にぎわいのある商業業務地

なぜ「景観まちづくり」が必要か

私たちが目にするまちの景観は、さまざまなまちづくりに関する取り組みや日々の営みが目に映る形となって現れたものでもあります。まちづくりを通じて、市民共通の資産である良好な景観を守り、つくり、育てていくことが「景観まちづくり」です。景観まちづくりには、次のような意義があると考えます。

- 景観が美しく調和の取れた、魅力あふれるものになるのであれば、暮らす人の心に潤いや安らぎをもたらします。また、市民がいつまでも武蔵野市で暮らし続けたいと誇りに思う気持ちを育み、都市における生活の質を高めます。
- 市民が魅力を感じるまちは、訪れる人にも魅力的に感じられるでしょう。良好な景観をつくることは、文化芸術活動の誘発、観光や企業誘致等の経済・産業面などでも更なる活力を生み出し、発展させていく上でも重要な取り組みになると言えます。
- 目標とする景観を実現するための活動は、地域の連携が強まり、人と人とのつながりを大切にしたコミュニティが育まれるきっかけにもなり、市民が安心して生活することのできる将来のまちづくりにも貢献します。

(2) 景観ガイドラインについて

① 景観ガイドライン策定の背景・目的

武蔵野市は、緑豊かで閑静な住宅地や昔ながらの農地や屋敷林、にぎわいを感じさせる商業業務地など、多様な景観が各所に形成されています。

本市では、昭和46年から武蔵野市宅地開発等に関する指導要綱により、宅地開発等に際しては、空地の確保や緑化等によって、良好な住環境の保全、創出に取り組んできました。平成21年4月からは武蔵野市まちづくり条例により、新たな調整の仕組みとして、引き続きこれらに取り組んでいます。

平成23年に改定した「武蔵野市都市計画マスタープラン」では新たに「景観まちづくりの方針」を追加し、調和や総合性に配慮しながら、景観資源や地域特性を活かした景観形成を進めていくことを示しており、これに基づき、緑化の推進や高度地区の絶対高さ制限の導入等を進めてきました。

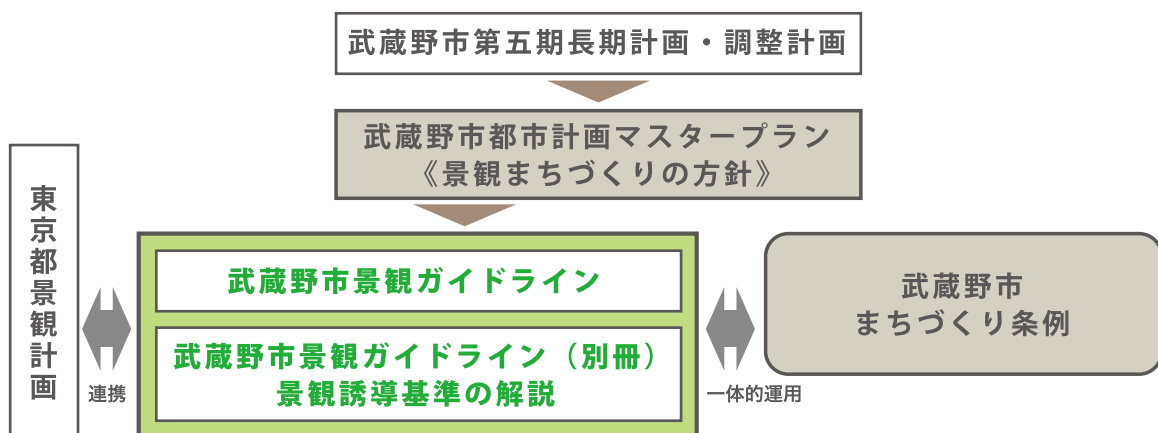
一方、平成16年に景観法が制定されて景観形成のための行為規制を行う仕組みが整えられ、これに伴い東京都は平成19年に東京都景観計画を策定し、市区の枠組みを超えて共有する、景観資源を活かした景観づくりに取り組み始めました。武蔵野市でも「玉川上水景観基本軸」「神田川景観基本軸」が東京都景観計画に位置づけられています。

平成26年に実施した景観に関するアンケートでも、平成17年の調査結果と比較して市民の景観への関心が高まっていることが示されています。

このような背景のもと、今後の景観まちづくりの具体的な方針を示し、市民等、開発等事業者、武蔵野市などのまちづくりに取り組むそれぞれの主体が景観への意識を高め、さらなる魅力あるまちづくりを進めるため、「武蔵野市景観ガイドライン」を策定します。

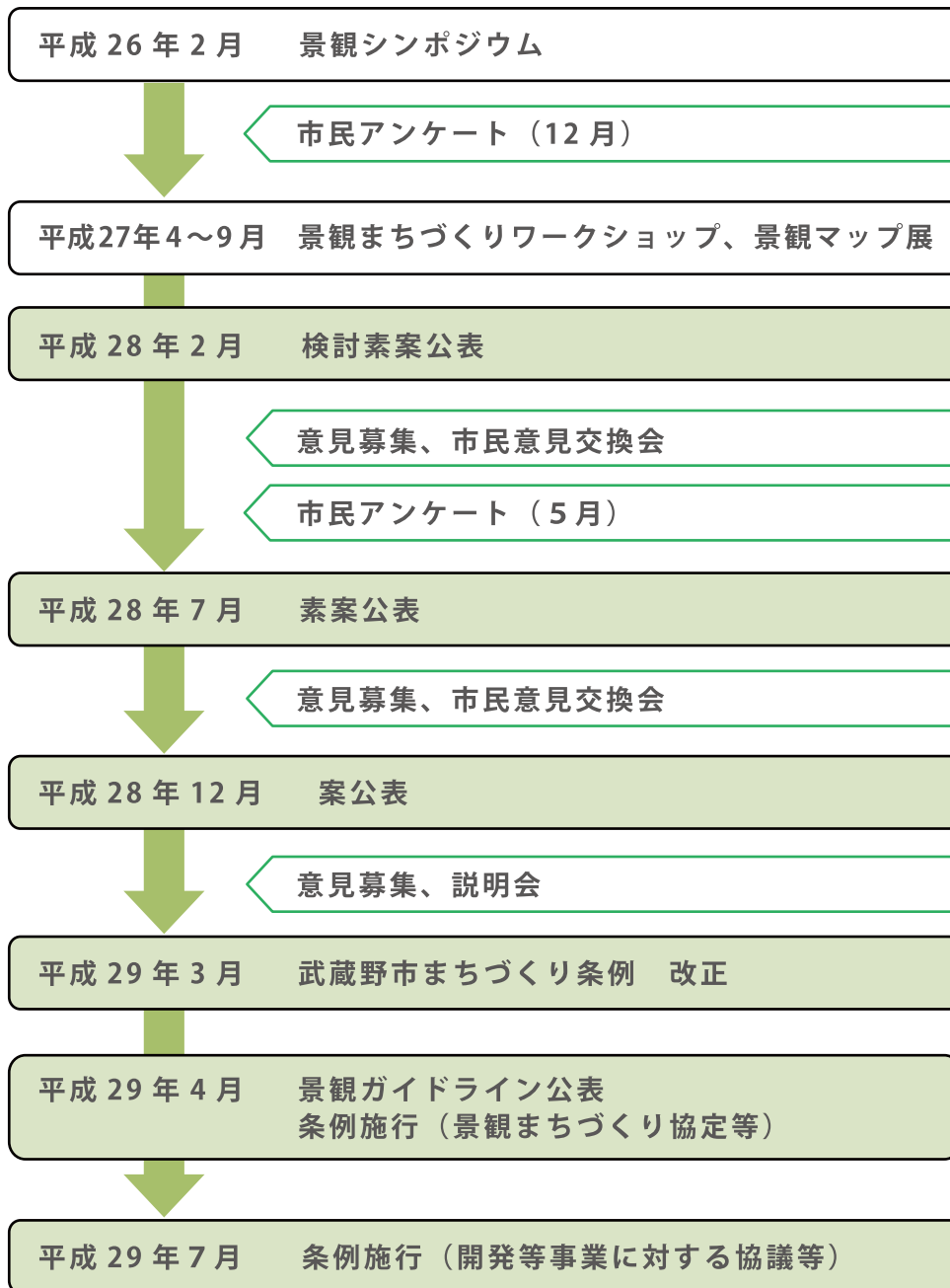
② 景観ガイドラインの位置づけ

景観ガイドラインは、「武蔵野市都市計画マスタープラン」(H23)の景観まちづくりの方針に基づき、景観まちづくりの進め方を示すもので、武蔵野市まちづくり条例を活用しながら運用していきます。



③景観ガイドラインの策定経過と今後の見直し

平成26年に検討を開始し、市民意見交換会や意見募集、武蔵野市まちづくり委員会への意見聴取などを踏まえて、景観ガイドラインを策定しました。



景観ガイドラインは、「武蔵野市都市計画マスタープラン」(H23)に示される景観まちづくりの方針に基づき、市民等、開発等事業者、武蔵野市などの各主体の景観に関する具体的な取組みを示しており、運用においては、各主体の景観まちづくりへの意識の深化が望まれます。そこで「武蔵野市都市計画マスタープラン」の見直し時期に併せ、それまでの実績、成果等を検証し、内容の見直しを行います。